

第19回MaOIセミナー

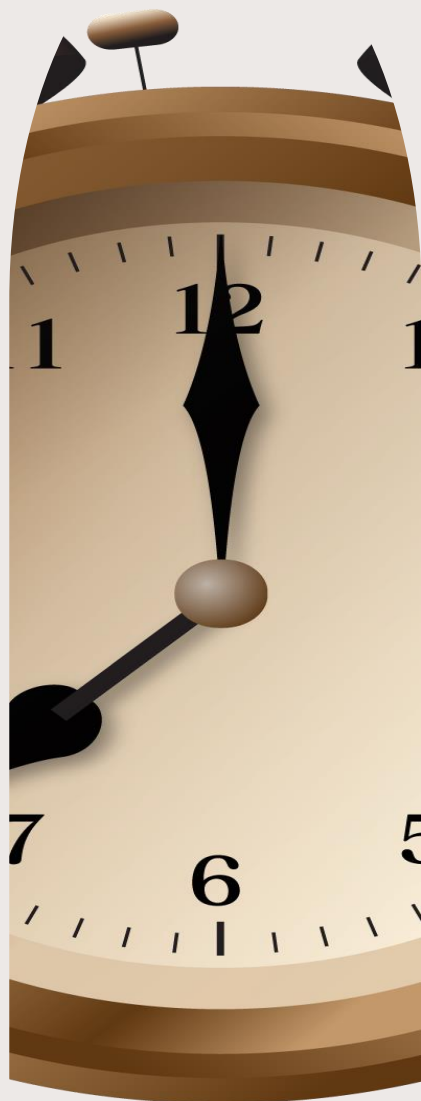
食べるタイミングが未来を変える！

時間栄養学で健康な人生を

いつ、何を食べるのか、時間と内容を考えて食事をする事で健康維持を実現する「時間栄養学」が注目されています。

今回のMaOIセミナーでは、時間栄養学の第一人者による最新の研究成果を伺うとともに、時間栄養学に基づく製品づくりに取り組む企業の事例について学びます。

皆様、奮ってご参加ください



【講演1】

「時間栄養学の健康科学への寄与」

広島大学 医系科学研究科 特任教授
早稲田大学 名誉教授 柴田重信先生

【講演2】

「自社製品を使用した時間栄養学研究の紹介」

カルビー株式会社 研究開発本部 研究部
機能研究課 課長 増富裕文氏

【日時】2024年2月7日(水) 14時～16時30分

【定員】会場80名+オンライン配信(ハイブリッド型セミナー)
(参加費無料)

【会場】レイアップ御幸町ビル 5階 5-D会議室
(静岡市葵区御幸町11-8レイアップ御幸町ビル)

【お申込み】

下記URLもしくは二次元バーコードからお申込みください
<https://qnr.maoi-i.jp/seminar>
締切 2024年2月2日(金)



【お問合せ】 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
電話054-340-1800 mail: info@maoi-i.jp

主催:一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
共催:公益財団法人静岡県産業振興財団
フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター

【タイムスケジュール】

- 13:30 開場・受付
14:00 開会挨拶
14:10 講演1 柴田重信氏
15:00 休憩
15:05 講演2 増富裕文氏
15:50 閉会挨拶
16:00 終了・意見交換会 ※配信終了
16:30 退館

お申込みは
こちらから



2/2(金)まで

【講演概要】

<講演1> 広島大学 医系科学研究科 特任教授
早稲田大学 名誉教授 柴田 重信先生
講演「時間栄養学の健康科学への寄与」

<概要>

体内時計は脳の視交叉上核にある主時計と、末梢臓器にある子時計で成り立っており、いずれの時計も24時間より長い周期で働いている。朝の光が主時計を合わせ、朝食が末梢時計を合わせ1日のスタートを切ることができる。末梢時計を合わせる朝食内容が分かってきた。また体内時計が栄養の吸収や代謝に影響することから、同一食事でも朝摂取に比較して夕摂取で、高血糖が続きやすい。さらに、栄養成分・機能性食品成分など摂取タイミングの違いで効果が異なってくる。体内時計と食事・栄養の関係を調べるのが時間栄養学である。このようなタイミングを考慮した食品開発のみならず、予防医学の食事療法に対しても時間栄養学は有用であろう。

略歴

福岡県出身。九州大学薬学部卒業。博士(薬学)
九州大学助教、米国ニューヨーク州立大学研究員、九州大学准教授等を経て、
1996年から早稲田大学人間科学部教授、
2003年から早稲田大学理工学術院教授、2023年から現職。



<講演2> カルビー株式会社 研究開発本部 研究部
機能研究課 課長 増富 裕文氏
講演「自社製品を使用した時間栄養学研究の紹介」

<概要>

スナック菓子やシリアルを製造販売するカルビーでは、近年発展してきた時間栄養学の観点から研究を進めています。研究事例として、朝食を抜いている人が朝食を食べるようになると心身にどのような影響があったのか。フルーツグラノーラを朝に食べることの科学的な根拠は。またスナック菓子などのおやつを食べる最適な時間はあるのか。など、実際にお客様が手に取れる製品での研究事例を紹介し、本講演を通じてあらためて“食”を考えるきっかけとなればと考えております。

略歴

2013年3月 東邦大学薬学部薬学科 修了(薬剤師)
2013年4月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 博士課程 医歯学専攻 入学
2017年3月 同上 修了 博士(医学)
2017年4月 カルビー株式会社 入社 研究開発本部 研究部 機能研究課 配属
2022年4月 同上 機能研究課 課長 現在に至る



【お問合せ】 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
電話054-340-1800 mail: info@maoi-i.jp

主催:一般財団法人マリンオープンイノベーション機構
共催:公益財団法人静岡県産業振興財団 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター